

大学院修了に必要な単位数

◎医学専攻

区分	授業科目	必修選択の別	開設年次及び単位数	
			1年次	1～4年次
共通科目	産業医学研究基盤コース ※	必修	2	
	医学研究概論	必修	2	
	産業医学特論 ※	必修	1	
	医学英語特別コース	必修		1
専門領域科目	解剖学特論	選択		6
	解剖学演習	選択		6
	解剖学実習	選択		6
	解剖学論文指導	選択		6
	組織学特論	選択		6
	組織学演習	選択		6
	組織学実習	選択		6
	組織学論文指導	選択		6
	法医学特論	選択		6
	法医学演習	選択		6
	法医学実習	選択		6
	法医学論文指導	選択		6
	法医認定医養成講座	選択		2
	生化学特論	選択		6
	生化学演習	選択		6
	生化学実習	選択		6
	生化学論文指導	選択		6
	腫瘍生化学特論 ●	選択		1
	がんゲノム情報解析I ●	選択		1
	分子生物学特論	選択		6
	分子生物学演習	選択		6
	分子生物学実習	選択		6
	分子生物学論文指導	選択		6
	腫瘍分子生物学 ●	選択		1
	免疫学特論	選択		6
	免疫学演習	選択		6
	免疫学実習	選択		6
	免疫学論文指導	選択		6
	腫瘍免疫学 ●	選択		2
	病理形態学特論	選択		6
	病理形態学演習	選択		6
	病理形態学実習	選択		6
	病理形態学論文指導	選択		6
	病理専門医養成講座Ⅱ	選択		2
	腫瘍病理学 ●	選択		0.5
	神経生理学特論	選択		6
	神経生理学演習	選択		6
	神経生理学実習	選択		6
	神経生理学論文指導	選択		6

大学院修了に必要な単位数

◎医学専攻

区分	授業科目	必修選択の別	開設年次及び単位数	
			1年次	1～4年次
	細胞生理学特論	選択		6
	細胞生理学演習	選択		6
	細胞生理学実習	選択		6
	細胞生理学論文指導	選択		6
	薬理学特論	選択		6
	薬理学演習	選択		6
	薬理学実習	選択		6
	薬理学論文指導	選択		6
	衛生学特論 ※	選択		6
	衛生学演習	選択		6
	衛生学実習	選択		6
	衛生学論文指導	選択		6
	労働衛生工学特論 ※	選択		6
	労働衛生工学演習	選択		6
	労働衛生工学実習	選択		6
	労働衛生工学論文指導	選択		6
	環境衛生化学特論 ●	選択		0.5
	環境疫学特論 ※	選択		6
	環境疫学演習	選択		6
	環境疫学実習	選択		6
	環境疫学論文指導	選択		6
	環境産業疫学特論 ●	選択		0.5
	集団健診論 ●	選択		0.25
	公衆衛生学特論 ※	選択		6
	公衆衛生学演習	選択		6
	公衆衛生学実習	選択		6
	公衆衛生学論文指導	選択		6
	計量分析疫学特論 ●	選択		0.75
	寄生虫学特論	選択		6
	寄生虫学演習	選択		6
	寄生虫学実習	選択		6
	寄生虫学論文指導	選択		6
	産業保健管理学特論 ※	選択		6
	産業保健管理学演習	選択		6
	産業保健管理学実習	選択		6
	産業保健管理学論文指導	選択		6
	神経内科学特論	選択		6
	神経内科学演習	選択		6
	神経内科学実習	選択		6
	神経内科学論文指導	選択		6
	神経内科専門医養成講座	選択		2
	精神医学特論	選択		6
	精神医学演習	選択		6
	精神医学実習	選択		6

大学院修了に必要な単位数

◎医学専攻

区分	授業科目	必修選択の別	開設年次及び単位数	
			1年次	1～4年次
	精神医学論文指導	選択		6
	精神科専門医・精神保健指定医養成講座	選択		2
	職業性中毒学特論 ※	選択		6
	職業性中毒学演習	選択		6
	職業性中毒学実習	選択		6
	職業性中毒学論文指導	選択		6
	がん患者の職場復帰と産業医の役割 ●	選択		1
	病態制御内科学特論	選択		6
	病態制御内科学演習	選択		6
	病態制御内科学実習	選択		6
	病態制御内科学論文指導	選択		6
	リウマチ専門医養成講座	選択		2
	糖尿病専門医・内分泌専門医養成講座	選択		2
	病態病理学特論	選択		6
	病態病理学演習	選択		6
	病態病理学実習	選択		6
	病態病理学論文指導	選択		6
	病理専門医養成講座Ⅰ	選択		2
	細胞診専門医養成講座	選択		2
	環境発癌 ●	選択		0.5
	TNM分類・病期診断 ●	選択		0.5
	微生物学特論	選択		6
	微生物学演習	選択		6
	微生物学実習	選択		6
	微生物学論文指導	選択		6
	消化器内分分泌外科学特論	選択		6
	消化器内分分泌外科学演習	選択		6
	消化器内分分泌外科学実習	選択		6
	消化器内分分泌外科学論文指導	選択		6
	外科専門医養成講座	選択		2
	腹部障害特論 ●	選択		0.5
	腹部外科腫瘍学 ●	選択		0.5
	腹部外科再建外科学 ●	選択		1
	がん治療の基本原則Ⅰ ●	選択		1
	胸部外科学特論	選択		6
	胸部外科学演習	選択		6
	胸部外科学実習	選択		6
	胸部外科学論文指導	選択		6
	呼吸器外科専門医養成講座	選択		2
	乳腺外科専門医養成講座	選択		2
	胸部障害再建外科学 ●	選択		1
	がんゲノム情報解析Ⅱ ●	選択		1

大学院修了に必要な単位数

◎医学専攻

区分	授業科目	必修選択の別	開設年次及び単位数	
			1年次	1～4年次
	整形外科学特論	選択		6
	整形外科学演習	選択		6
	整形外科学実習	選択		6
	整形外科学論文指導	選択		6
	整形外科専門医養成講座	選択		2
	リハビリテーション医学特論	選択		6
	リハビリテーション医学演習	選択		6
	リハビリテーション医学実習	選択		6
	リハビリテーション医学論文指導	選択		6
	リハビリテーション専門医養成講座	選択		2
	消化器内科学特論	選択		6
	消化器内科学演習	選択		6
	消化器内科学実習	選択		6
	消化器内科学論文指導	選択		6
	皮膚科学特論	選択		6
	皮膚科学演習	選択		6
	皮膚科学実習	選択		6
	皮膚科学論文指導	選択		6
	皮膚科専門医養成講座	選択		2
	泌尿器科学特論	選択		6
	泌尿器科学演習	選択		6
	泌尿器科学実習	選択		6
	泌尿器科学論文指導	選択		6
	泌尿器科専門医養成講座	選択		2
	がん診療体制の整備とがん診療における医療連携	選択		1
	循環器学特論	選択		6
	循環器学演習	選択		6
	循環器学実習	選択		6
	循環器学論文指導	選択		6
	循環器専門医養成講座	選択		2
	腎臓学特論	選択		6
	腎臓学演習	選択		6
	腎臓学実習	選択		6
	腎臓学論文指導	選択		6
	腎臓専門医養成講座	選択		2
	放射線科学特論	選択		6
	放射線科学演習	選択		6
	放射線科学実習	選択		6
	放射線科学論文指導	選択		6
	放射線科専門医養成講座	選択		2
	放射線腫瘍学 ●	選択		3

大学院修了に必要な単位数

◎医学専攻

区分	授業科目	必修選択の別	開設年次及び単位数	
			1年次	1～4年次
	呼吸器内科学特論	選択		6
	呼吸器内科学演習	選択		6
	呼吸器内科学実習	選択		6
	呼吸器内科学論文指導	選択		6
	呼吸器内科専門医養成講座	選択		2
	人間工学特論 ※	選択		6
	人間工学演習	選択		6
	人間工学実習	選択		6
	人間工学論文指導	選択		6
	脳神経外科学特論	選択		6
	脳神経外科学演習	選択		6
	脳神経外科学実習	選択		6
	脳神経外科学論文指導	選択		6
	脳神経外科専門医養成講座	選択		2
	眼科学特論	選択		6
	眼科学演習	選択		6
	眼科学実習	選択		6
	眼科学論文指導	選択		6
	眼科専門医養成講座	選択		2
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学特論	選択		6
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学演習	選択		6
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学実習	選択		6
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学論文指導	選択		6
	耳鼻咽喉科専門医養成講座	選択		2
	麻酔科学特論	選択		6
	麻酔科学演習	選択		6
	麻酔科学実習	選択		6
	麻酔科学論文指導	選択		6
	麻酔科専門医養成講座	選択		2
	緩和ケアの基本概念と実践 ●	選択		3
	産科婦人科学特論	選択		6
	産科婦人科学演習	選択		6
	産科婦人科学実習	選択		6
	産科婦人科学論文指導	選択		6
	臨床腫瘍診断学	選択		0.5
	小児科学特論	選択		6
	小児科学演習	選択		6
	小児科学実習	選択		6
	小児科学論文指導	選択		6
	小児科専門医養成講座	選択		2

大学院修了に必要な単位数

◎医学専攻

区分	授業科目	必修選択の別	開設年次及び単位数	
			1年次	1～4年次
	救急医学特論	選択		6
	救急医学演習	選択		6
	救急医学実習	選択		6
	救急医学論文指導	選択		6
	救急科専門医養成講座	選択		2
	がん治療の基本原則Ⅱ ●	選択		2
	各種がんの治療 ●	選択		2
	がんの生命倫理、法的経済的問題、心理社会的側面 ●	選択		2

※ 指定科目(産業医学関連科目)

● がん専門医師養成科目

履修する単位の内訳

共通科目6単位、専門領域科目30単位、計36単位以上(指定科目6単位を含む)を履修する。

ただし、がん医療及び研究において高度な専門的知識及び技能の習得を希望する学生は、共通科目6単位、専門領域科目30単位、計36単位以上(がん専門医師養成科目24単位を含む)を履修する。